



## 光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

第16号【令和8年3月9日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

### 卒業式をひかえて

1年生は、総合的な学習の時間にキャリア学習の一環として、生徒自身が企画した「お楽しみイベント」を実施しました。尾崎キャリアプランナーと教員によるコーディネートのもと、「ドッジボール」「ペットボトル・フリップ・リレー」「推理かくれんぼ」の3つの活動はいずれも大いに盛り上がり、1年生の楽しそうな笑顔がたくさん見られました。なかでも「推理かくれんぼ」は、学校の敷地内に隠れた先生や生徒を、さまざまなヒントを頼りに場所を推理し、どれだけ早く見つけられるかを競うゲームです。教員も生徒も本気で隠れるため、簡単には見つかりません。チームで話し合っって推測し、探索に向かう仲間にタブレットで指示を送るなど、推理力とチームワークが求められました。これらの活動の目的は、生徒が自ら企画し、運営する力を育てることにあります。自由で楽しい活動を実行できたことは、生徒たちの大きな達成感につながりました。一方で、その裏には多くの教員の支えがあることにも目を向ける必要があると、尾崎キャリアプランナーから生徒たちに話がありました。安全面への配慮、授業中の他学年への影響を避ける工夫、時間内の円滑な進行への助言、学年を越えた情報共有など、多くのサポートが陰で行われていました。尾崎キャリアプランナーからのメッセージは「自由に面白いことをしたいなら、そのための力をつけなければいけない」というものです。企画・運営の力、リスクを予測する力、広い視野で物事を捉える力、情報を発信し共有する力。1年生は「自由に面白いこと」を実現するための基礎を、今まさに身につけている過程にあります。

2年生は6月の沖縄方面修学旅行の事前学習として、奈良教育大学の河野晋也先生を講師にお招きし、平和学習を行いました。誰もが知る昔話「桃太郎」を題材に、鬼退治に向かう桃太郎や村人の心情と、戦争が起こる仕組みを関連付けながら、身の回りに潜む偏見や戦争プロパガンダにどう対抗するかを考える授業をしていただきました。生徒たちは、様々な学びを通して「戦争のない世界を築くとはどういうことか」について思考を深めています。

令和7年度も終わりに近づいています。3日後には、立派に成長した3年生の門出を祝う日がやってきます。高校入試もひと段落し、卒業式の練習が始まりました。日々の学びを通して、人として成長を続ける3年生の生徒たち。その節目となるのが卒業式です。教職員一同、たくさんの学びと出会いを重ねて成長した生徒たちが、自らの道を誇りと自信をもって歩み出せるよう、これからも変わらぬ思いで見守り続けたいと願っています。保護者の皆様には、日頃より温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、変わらぬご支援をお願い申し上げます。